

NTT 西日本グループカップ第55回静岡ユース U-12 サッカー大会  
マッチウェルフェアオフィサーの設置について

- (1) 今大会は、全試合にマッチ・ウェルフェアオフィサーを設置する。
- (2) マッチ・ウェルフェアオフィサーは、暴力・暴言に対する指導及び行き過ぎた指導や応援に対する注意を行う。
- (3) 上記の(2)においては、一般財団法人静岡県サッカー協会4種委員会定例会議にて報告する。
- (4) マッチコーディネーションミーティング  
両チーム監督・試合担当審判団・ウェルフェアオフィサーの立ち会いのもと、試合選手チェック時に本部又は、ベンチサイドで行う。

(協議) 資料No.1①

リスペクト・フェアプレー委員会

ウェルフェアオフィサー設置要項 (抜粋)

1. 基本的な考え方

国際化、様々な価値観、生活様式の多様化が進んだことにおいて、日本の社会のみならず、サッカーを取り巻く環境においても、差別や暴力に対する認識等に対して脆弱な意識、思考、行動が見受けられる。

差別、暴力（暴言、ハラスメントを含む）が我々のスポーツにおいて、また我々の暮らす社会において、本当に根絶されるために日本のサッカーはこれらに対して更なる行動をとる。

2. 設置

サッカーに関わるすべての人が安全にサッカーを楽しむことができる環境を作り出すこと、また、サッカー活動においてリスペクト精神が浸透し、オンザピッチ、オフザピッチでフェアなプレーを確保することが大切であり、誰もがリスペクトやフェアプレーの考え方を理解することが必要である。

ウェルフェアオフィサーは、各種サッカー協会、連盟、競技会、クラブ（以下、「協会等」という。）に設置され、サッカーを取り巻く環境の“ウェルフェア”醸成に努め、よりサッカーを楽しむ人のためになるよう活動する。

3. 役割

ウェルフェアオフィサーは、リスペクトやフェアプレーを啓発、促進し、暴力、差別等の予防活動を通じて、問題を未然に防ぐ、また、顕在化した諸問題に対応、問題解決を図ると共に、問題の内容や重大さによって司法機関や諸関連組織への橋渡しとしての役割を担う。